ひまわり組だより

5月

令和５年５月１５日（月）真野第１保育園　ひまわり組担任　橋本　智美

ひまわり組の生活が始まって一か月がたちました。４ 月に行った身体測定では「せんせい、おおきくなってる？」「ひまわりぐみになったから、おおきくなっちゃった」と嬉しそうな子どもたちの表情が見られました。脱いだ服も自分で畳んでみようとしたり、用意ができたら並んで待つことができたりと、子どもたちの意欲的な姿に嬉しく思います。流れが分かってどんどん取り組めるということはすごいことですね。遊びや様々な生活の場面でも子どもたちが自分で考えて取り組んでいけるように援助したり見守っていきたいと思います。

てつだってあげる！

もっててあげる

←スズランテープにくっついたガムテープをはがそうとしていますがなかなかうまくいかず…困っているとお友だちが手をかしてくれました。

→ガムテープを使いたいけど、どうやって切ればいいのかな…
そこへ仲良しのお友だちが来てガムテープの端を持ってくれました。

ちょっとみせて

いいねショット👍

←「せんせ～い！みてみて～！」
ひらひらのテープを目につけて、なんだかおもしろ～い！
こんな姿も制作ならではですね。

持ち手の棒に注目!!→
ひらひらのテープをたくさんつけています。ぼくだけのオリジナル!!アイデアがいいね!!

園庭をおよげ！ひまわり組のこいのぼり

子どもたちが元気にすくすくと育ちますように…そんな願いをこめてこいのぼりを作って遊びました。

これにしようかな

こいのぼりの土台となるビニール袋や、持ち手の棒は自分で好きな物を選びました。

おれんじいろでかこうっと

めだまやうろこをつけます。

あかいひらひら

めをぬりぬり

うろこは
ハートマーク

こいのぼり完成!!園庭へ!!

わぁ～い！

たのしい～

せんせ～い
みてみて

制作をして遊ぶ時には様々な素材に触れることや、自分で選んで好きなように表現できるということを大切にしています。「これをつかってみたい」「ここにテープをはりたい」と、次々にアイデアが出てきておもしろいなと感じました。子どもたちの豊かな発想は素敵ですね。また、困っているお友だちのお手伝いをしようとする優しい姿も見られ嬉しく感じました。出来上がったこいのぼりを見せあいっこして喜び、自分のものだけでなくお友だちの作ったこいのぼりまでしっかり覚えていました。

作ったこいのぼりを持って園庭へ行くと、本当に嬉しそうな笑顔で走り回る子どもたち。世界で一つだけのオリジナルこいのぼりが嬉しそうに泳いでいました。しっかりと棒を握った手から、そして力強く走る体からどんなことを感じているのかな。これからも子どもたちの豊かな感性を育てていきたいと思います。